

震災後、「がんばっぺ東北！」や「東日本大震災チャリティーコンサート」そして「復興ライブ」などのイベントに参加し、音楽で元気を届けてきた白石中学校吹奏楽部に「ライブや映画」の感想を聞きました



つながる心で 元気の輪を広げます！



白井さんと一緒に歌うことができ、音楽の持つ力を学び、映画からあきらめない「七転び八起き」の精神を学びました。これからも努力を忘れずに、夢を持ち続けていきたいと思います。

日本への恩返しに

～海老名市在住のオペラ歌手・崔宗宝さんによるチャリティーコンサート～

7月8日、姉妹都市である海老名市在住のオペラ歌手・崔宗宝さんによるコンサートが白石中学校体育館で行われ、同中の生徒約300人が心を熱くした。

声楽を学ぶため平成4年に北京から来日した崔さん。「日本に来て20年、多くの方々に支えていただき、日本の皆さんに恩返しをしたい」と各地でチャリティーコンサートを開催。その収益46万円を本市に寄付するとともに、「歌を聞いて元気になってもらいたい」と、荒城の月を中国語と日本語で歌うなど8曲を披露した。

ユーモアあふれる話を交えたコンサートに生徒代表の半澤唯さんは、「楽しいひとときを過ごすことができました。震災以降、たくさんの人が支えてくれていることを実感しています」と感謝の言葉を述べた。



▲心に響くバリトンの歌声に生徒は心を熱くした

新たな絆

それぞれの想いを胸に、被災地の支援に動き出す人たちが再起を期す人たち、励まし合い支え合う人たち。相手を思いやる気持ちや行動は、新たな絆となつて、白石を励まし、たくさんの勇気を与えてくれた。震災から何を学び、活かしていくのか。

私たちは、復興に向けて一人一人が感謝の気持ちを行動に出して、歩いていかなければならない。

白石、宮城、東北が、再び元気になるように「トライ、トライ、アゲイン(挑戦あるのみ)」。夢を持って、つながる心で元気の輪を広げよう！



復興祈願ライブby白井貴子&映画「TAKAMINE アメリカに桜を咲かせた男」上映会

復興祈願ライブ

7月9日、白井貴子さんの復興祈願ライブと映画「TAKAMINE アメリカに桜を咲かせた男」(市川徹監督)の上映会が中央公民館で行われた。白井さんは、昭和56年にデビューし、代表作である「CHANCE」のヒットを機に、「ロックの女王」と呼ばれる、女性ポップロックシンガーの先駆的存在。オーガニックな地球環境配慮型の生活を送り、平成19年には神奈川県初の環境大使に就任し、さまざまな活動を積極的に行っていることは全国的に有名である。また、昨年の5月23日に神奈川県では初の開催となった「第61回全国植樹祭」で大会テーマソング「森へ行こう!」を歌い、全国植樹祭の成功に華を添えた。

映画上映会

約100年前、単身アメリカに渡り、不屈の精神で困難を乗り越えたタカアスターゼとアドレナリンを発見し、大成功を収めたサムライ化学者高峰譲吉は、日本から6,000本の桜をアメリカに寄贈した。この映画は、そんな彼が戦争へと突き進む世の中を平和へと導くために奔走した物語。来春、ワシントンの湖畔などに桜が植えられてから「桜植樹100周年」。日本とアメリカで上映されるこの映画の主題歌「SAKURA SAKURA」は、白井さんが担当した。歌詞には「SAKURA SAKURA 新しい明日を咲かせて 清らかに奏でる未来 あきらめないように」とつづられている。



1_3月11日に産声を上げた山崎りちゃんご家族が白井さんとトーク 2_震災復興のため笑顔で元気を発信している白石青年会議所の皆さんが白井さんとトーク 3_白石の応援に駆けつけた小笠原登別市長が映画の感想を語り「私は市長になる前は造園の仕事をしていた。登別市からチェコスロバキアに桜を贈るために苦労した思い出とこの映画が重なった。壁を越えないと次がない。トライ、トライ、アゲイン(挑戦あるのみ)！」と涙する場面も 4_映画や映画の主題歌について語る市川監督と白井さん